

本ガイドはいかがだったでしょうか。皆さまのお役に立てば幸いです。
児童生徒等の健全育成のため、これからも共に頑張っていきましょう！
今後ともよろしく願いいたします。

PTA 等共済室 一同



おわりに

「行政にしかできないことがあるんですよ」
この一言が、ガイドを作るキッカケになりました。

平成 29 年 7 月に九州北部を襲った豪雨災害により、甚大な被害が発生しました。私は、東日本大震災で被災し、その際に九州地方の方にも大変お世話になったことから、災害ボランティアに参加することを決意し、現地に赴きました。

現地にはたくさんの災害ボランティアの方が集まっており、泥の搬出作業や石灰散布による消毒作業など、被災された方々のニーズに応じて様々な活動を行いました。炎天下や蒸し暑い住宅の床下での作業は決して楽なものではありませんでしたが、作業後の住民の方の笑顔は一生忘れる事ができないものでしたし、共に活動を行った仲間との強い絆も生まれ、私にとってかけがえのない経験となりました。

しかし、どれだけ多くの災害ボランティアが集まっても、それだけでは復旧作業は進められません。行政や社会福祉協議会、災害ボランティア団体の方々が協力して、被災された住民のニーズを集め、その情報を元に災害ボランティアに集まった方々をそれぞれの現場に振り分けるなど、活動の「コーディネーター役」がいてはじめて成り立つものでした。そうした役割を担う災害ボランティア団体の方々は、日々現場を回って情報を集め、その情報を元に関係者と打ち合わせを重ね、夜遅くまで活動プランを練るなど、被災された方のために休みなく活動を続けられていました。活動の後、お世話になったスタッフの方に「皆さんのような方々がいるから、被災された人たちも困難から立ち直ることができるんですね。」と声をかけたところ、「でも、私たちにできることも限られているんです。行政にしかできないこともたくさんあるんですよ。」という言葉が返ってきました。それを聞いて私は目の覚める思いがしました。行政の人間としてこれまで何をしてこれたのか、そしてこれから何ができるのか・・・。

色々考えた中で、その答えの一つとして本ガイドが誕生しました。共済事業や地域と学校の連携・協働においても、活動のコーディネーター役を担う共済団体の皆さまや、地域学校協働活動推進員の方々がとても重要な役割を果たしている事は言うまでもありません。児童生徒等の健全育成のために、日々試行錯誤を繰り返しながら取り組まれている皆さまにとって、本ガイドが活動の一助となれば幸いですし、私たちはこれからも皆さまと共に歩んでまいりたいと思っております。

最後に、本ガイドを作成するにあたり、ご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

平成30年6月吉日

文部科学省

生涯学習政策局社会教育課

PTA等共済室 三島 健一



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN